

コロナ対策で100万円

岐阜信金 県ユニセフ協会に寄付

岐阜信用金庫は27日、新型コロナウイルス対策に役立ててもらおうと、県ユニセフ協会(森脇久隆会長)に100万円を寄付した。同金庫は5月1日から8月31日までに「ぎふしんアプリバンキング」に新規で口座登録した顧客1人につき100円を、ユニセフの

新型コロナウイルス緊急募金に寄付すると発表しており、約1万人が新規登録していた。同協会のある各務原市鵜沼各務原町の生活協同組合コープぎふで行われた贈呈式では、同金庫の光崎修常務理事・営業戦略部長が「ユニセフについて知ってもら



森脇久隆会長に目録を手渡した光崎修常務理事・営業戦略部長(左)と各務原市鵜沼各務原町生活協同組合コープぎふ

いながら多くの人に新規登録してもらえた」と森脇会長に目録を手渡した。森脇会長は「ありがたく活用し

たい」と感謝を伝えた。寄付金は、日本ユニセフ協会へ届けられる。

(村井樹)